

報告 Report

埼玉県企業－学生交流会 実施報告

原稿受付 2011年 4月7日
ものづくり大学紀要 第2号 (2011) 97～103

平岡 尚文

ものづくり大学 技能工芸学部 製造学科

1. はじめに

2010年11月12日、日本機械学会関東支部埼玉ブロック主催で埼玉県企業－学生交流会を開催した。報告者は埼玉ブロック幹事として交流会の企画、運営を行い、本学学生が運営補助にあたった。地域企業と学生の交流の一形態として今後の参考になると考え、埼玉ブロックの許可を得てここにその内容を報告する。

2. 交流会の目的

近年、大学卒業者の就職状況は若干上向き傾向にあるとはいえ、企業側の選抜態度はむしろ厳しさを増しているといつてよい。特に有名大企業への学生側の応募集中は変わらず、狭き門に学生があふれている状態である。一方、中小企業には、優れた技術、製品を持ちながら、知名度の不足や学生の先入観によって人材獲得に困難を抱えているところが多い。

そこで日本機械学会埼玉ブロックでは、学生の県内企業に対する意識向上と就職活動を促進し、県内企業の県内大学からの人材獲得を支援することを目的として、県内企業の技術や商品、活動状況、就職に関する情報を学生に直接伝え、同時に学生側の動向が企業に伝わる県内企業－学生の交流の場を設けることにした。

3. 実施形態

さいたま市主催の商工見本市「コラボさいたま」（会場：さいたまスーパーアリーナ、期間：11月12日～14日のうち交流会は12日。参加団体数225）に参加し、機械学会ブースを設けるとともに、見本市参加企業のうち、交流会に賛同いただいた企業に人事／採用関係者（あるいは就職関係の質問に答えられる方）を企業展示ブース内に配置いただいた。学生は学会ブースを基地として自由に交流会参加企業ブースをまわり、就職情報を収集する。

具体的には、会場に到着した学生はまず機械学会ブースに向かい、そこで登録し、交流会参加学生であることがわかるネームプレートと交流会参加企業のブース位置がわかる会場マップを支給される(図1)。マップをもとに興味ある企業のブースに向かう。企業ブースではその企業の製品展示や技術紹介がなされているので、企業活動内容に実際に触れながら担当者から話を聞くことができ、企業に対する理解が深まることが期待された。当日の機械学会ブースの様子を図2に示す。

埼玉ブロックに委員を有する下記7大学に、委員を通じて学生に参加を促した。

2010 埼玉県 企業-学生交流会 参加企業マップ

44 株式会社PPE	住宅	112 株式会社同家	エネルギー
45 有限会社ニッポン設計事務所	設計	116 株式会社山田工務店	機械
47 株式会社アステムテクノロジ	システム	121 株式会社イーサーイノベーション	機械
57 株式会社新野建設設計事務所	建設	127 株式会社遠田エアドック	企業、機械
76 株式会社新野エンジニアリング	建設	128 株式会社山田工務店	機械
78 株式会社イーシーエス	建設	141 株式会社	機械
85 株式会社イザナ	エネルギー	143 株式会社山田工務店	機械
87 株式会社エクス	建設	148 株式会社東洋建設	企業、機械
90 ハウブアーキテクチャ	建設	149 株式会社山田工務店	機械
94 株式会社シックス	エンジニア	159 株式会社山田工務店	機械
95 東洋建設株式会社	建設	162 株式会社山田工務店	機械

上記参加企業のブースでは休憩に際し相談をしております。それ以外のブースでも製品・商品に興味があればどなたの声を聞いてください。
不明な点があれば機械学会ブースまで。

社団法人 日本機械学会 入会受付中 詳しくは下記へ
The Japan Society of Mechanical Engineers <http://www.jsme.or.jp/>

図1 会場マップ(左)とネームプレート

埼玉大学, 埼玉工業大学, 芝浦工業大学, 東京電機大学, 東洋大学, 日本工業大学, ものづくり大学
大学別, 学年別参加者数をそれぞれ図3, 4に示す. 参加学生総数は191名(12日186名, 13日3名, 14日2名)であった. 専攻は問わずに参加学生を募集したが, 結果的には機械工学系の学生がほとんどであった. 当日は会場に近い埼玉大学, 芝浦工業大学を除く各大学に会場行きバスを配車した. 参加学生の2/3はこのバスを利用したと推定される.

交流会参加企業は製造業を中心に23社であり, 企業規模はすべて中小である. 酒造業や建設業からの参加もあった. なお, 「コラボさいたま」実施担当者(さいたま市職員)と相談の結果, 企業側が人を派遣しやすい平日の12日金曜日を交流会指定日としたが, 事前に土日の開催状況について2, 3の学生から問合せがあったので, 13, 14日の土, 日曜日でも学会ブースは開けておき, 学生に対応した.

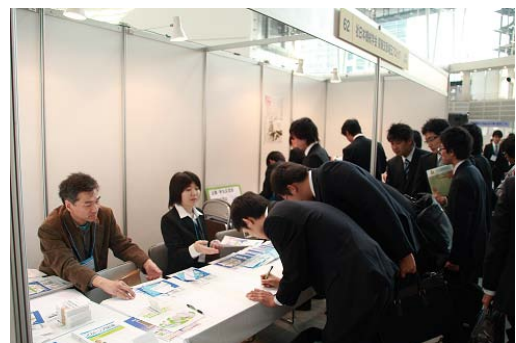


図2 当日の機械学会ブースの様子

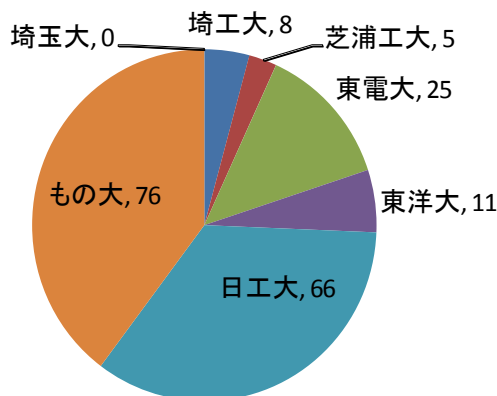


図3 大学別参加者数

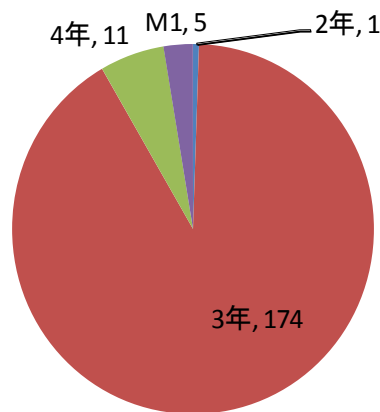
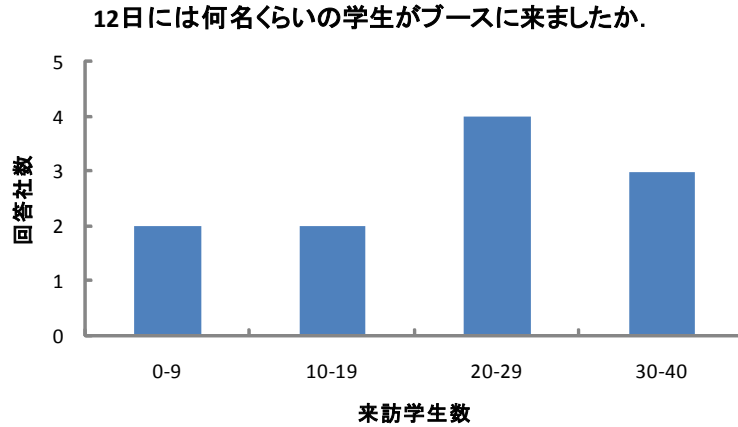


図4 学年別参加者数

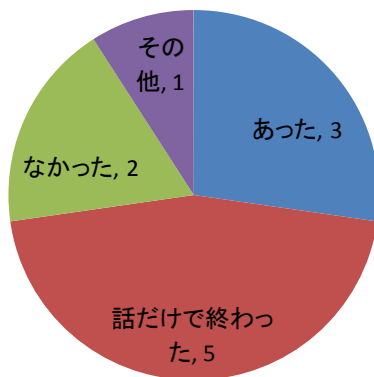
4. アンケート結果

参加企業、学生にアンケート用紙を配布し、会場の情報や感想、意見等を収集した。

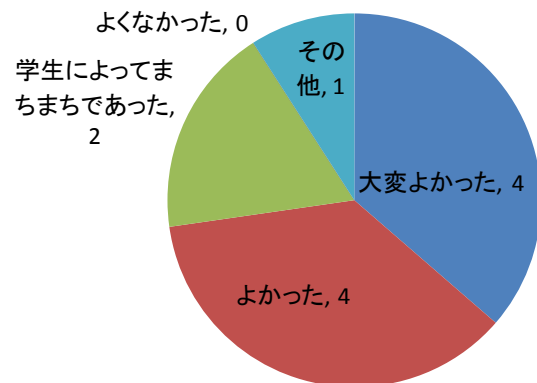
4.1 企業からの回答（回答数 11）



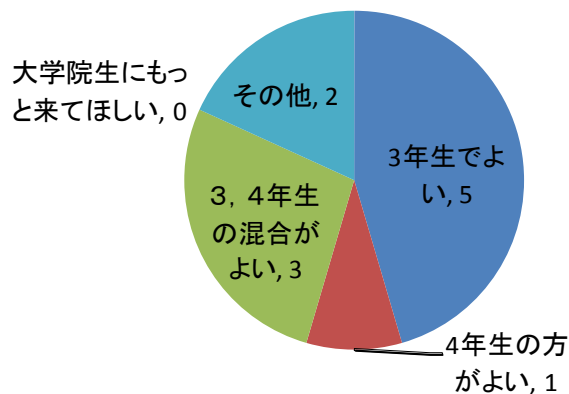
就職に結びつく実質的なやりとりがありましたか。



訪問学生の態度はいかがでしたか。



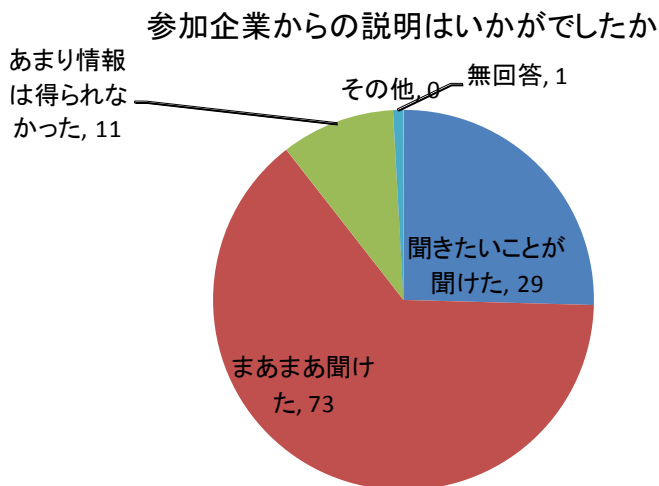
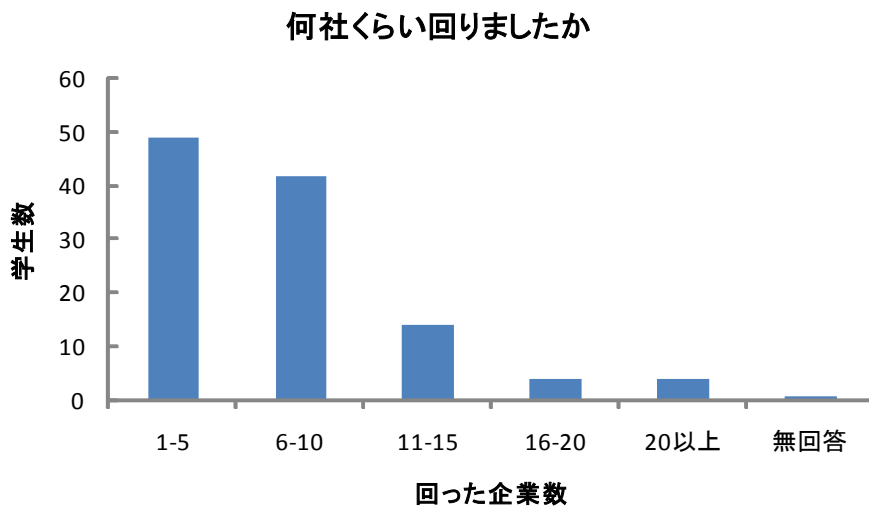
今回は3年生が主体(すなわち再来年4月入社対象)ですが、この時期、就職に関するコンタクトを行う学生として、3年生はふさわしかったですか。



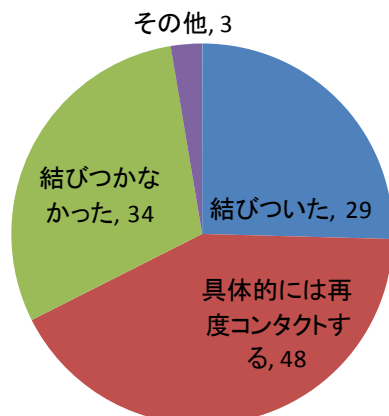
意見等

- ・礼儀正しい学生でした。
- ・4年生の学生は、質問が具体的だった。
- ・大変良いと思います。
- ・就活慣れしていない学生が多い。（時期が早いせいもあるが…）受身な学生が多かった。
- ・学生の人と話が出来て良かったです。（若い人の考えなど今後何をやりたいなど）
- ・当ブースに来ていただいて、ありがとうございました。
- ・2年生でも希望者がいたら連れてきてみてはいかがでしょうか。

4.2 学生からの回答（回答数 114）



会社見学等、就職の具体的な動きに結びつきましたか



意見等

- ・地元の企業と友達ができ、今後の就職に役立ちます。
- ・様々な企業の方の意見を聞くことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。
- ・金曜日にしかパンフレットを置いていない企業もあったので、土曜日にも置いて頂けるようにしてほしい。
- ・もっと聞きやすい環境が欲しい。
- ・説明が親切な企業もあれば、テキトーな説明で済まされてしまう企業もあった。
- ・もう少し分野わけてわかりやすく展示してほしい。求人についても情報が欲しかった。企業の方から直接話をきけてよかった。
- ・企業ごとの製品をいろいろと見ることができて良かった。
- ・会社が何を製作しているかだけでなく、どのように製作しているかや、どんな苦勞があったかなど聞くことができとてもよかった。
- ・中小企業がたくさん来ていて、その企業内容を聞いてみると、大手の企業さんに発注している部品があついたりして、中小企業の方がいないと製品が成り立つ事ができないと実感した交流会だったと思います。
- ・小セミナーをやってほしい。
- ・自分の専攻する分野の企業があまりなかった。
- ・面白い話が聞けたので良かったです。
- ・企業数を増やしてほしい。
- ・全員参加じゃなくていいと思う。
- ・もう少し学生向けに話してくれる企業が欲しいと思った。
- ・分野の区別がよくわからなかった。企業からの情報はとても良かった。
- ・どのような会社があるのか、あるていど理解できた。
- ・様々な会社があつておもしろかった。
- ・雰囲気少し違う気がした。
- ・色々な会社の話を聞くことができ、とてもためになった。いくつか、会社の説明会に顔を出してみたいと思える会社が見つかった。
- ・多くの企業の製品を見ることができたので就職活動に対しての考え方が広がった。面白い製品も多

くあったので勉強になった。

- ・製品の見本をいくつも見る事ができたのがよかった。
- ・同栄さんの太陽光発電システムについての説明がとてくわしくてわかりやすく、その商品が欲しくなった。
- ・同栄さんの CIS の太陽光システムが従来のシステムと違い性能がよく、説明がわかりやすく、こういう所の就職も良いかなと思った。
- ・参加企業の会社の内容など詳しい事が聞けました。
- ・現場の人と直接話を聞くことができ、参考になりました。
- ・学生の就職に関するブースが少なかったが、話が聞きやすい企業が多く就活以外にもやくにたった。
- ・学生でも気軽に見れる感じがよかった。
- ・堅苦しくなく気軽に話が聞けて良かった。
- ・私は、機械系の仕事をさがしているのもう少し多くの企業があればと思った。また、幅広い企業が参加していれば良いと思う。
- ・色々な業種のブースがあり、幅広く話を聞けたのでよかった。また、ある程度就職したい企業も選ばれた。
- ・交流会を通して、様々な企業がこういう物を作っていると知ることができ、貴重な経験になった。
- ・もう少し企業の方に来てほしい。
- ・合同説明会の様な緊張感を持たず、自然に聞きたいことを聞く事が出来た。
- ・様々な会社の説明が聞けてよかった。電動バイク、セグウェイの体験ができてよかった。もう少し技術者と話ができたらよかった。
- ・企業の人と話すことでいままでよくわからなかったことや企業のイメージがとらえやすかったのだからになりました。
- ・たくさん企業の情報を知ることができてとても参考になりました。
- ・企業に対しての考え方が、話を聞いているうちに変わりました。自分の知らない世界でもあったので、もっと視野を広げてみようと思いました。
- ・企業の製品説明から始まり、会社のこと、業界について聞くことが出来ました。今まで知ることのなかった業界についても見識が広まったと思います。
- ・多くの企業があったが、機械などが少なく感じた。
- ・もっと様々なジャンルの企業が参入してほしい。
- ・たのしかったです。
- ・①ある自動車会社の方から自動車の開発に携わる方たちの中にも自動車免許をもたずに開発を行い、理屈に物言わせ、自動車を作る人もいるということを知り、びっくりしました。(自動車産業の現状)
②後のものづくりにおいて、自分の学ぶべきことを明確に知ることができました。

5. まとめ

早期の就職活動が修学に支障を来すとの批判から、今年度から採用活動の時期が遅くなるようである。特に大企業にこの傾向があるが、今回の交流会が対象とした中小企業がどのように動くのか、不明なところがある。また、今回の交流会が実際の就職にどの程度結びついたのかについて、追跡調査を行っておらず、効果のほどが確認できていない。交流会への興味の持ち方も大学間で温度差があった。

今年度も開催するとすれば、このような問題を踏まえて開催時期、場所、内容について再検討する必要がある。しかしながら、このような形態の交流会は、おそらく全国でも他には行われておらず、従来の企業説明会に比較すると学生と企業間の相互理解の度合いは大きいであろうことは、アンケート結果からもうかがうことができる。今後の方向性は機械学会の意向にもよるが、より効果的で魅力的な交流の場として発展させてゆければと考えている。
